

電力システム改革第2段階への移行に伴って生じている諸問題について

平成28年9月9日

電力広域的運営推進機関

前回（6月24日）及び前々回（5月12日）の評議員会で報告させていただいたとおり、広域機関システムの一部機能については段階的に運用開始を行っているが、前回以降のシステム開発・運用開始状況等について報告する。

■ 前回評議員会（6月24日）以降に運用開始した主な機能

①連系線利用計画管理機能

- 月間連系線利用計画（調整用）の可否判定機能 9月5日
- 週間連系線利用計画の変更機能 9月9日

②計画提出機能

- 整合性チェック機能（翌日策定分） 8月1日

※新しい機能の導入や不具合改修等は“広域機関システムリスクマネジメント会議”（6月21日より計19回開催）で審議の上、実施。

■ 計画値同時同量制度への移行に伴う問題への取組

①計画データの適切な作成、提出に向けた注意喚起の実施

事業者から提出された最終計画に対する計画内不一致、計画間不整合のチェックと不整合を生じた対象事業者に対するメール、電話での通知、及びアドバイスの実施（7月1日以降、現在まで毎日実施）

②整合性チェック機能に関する講習会の開催

システムによる整合性チェック機能に関する概要説明

- ・ 8月3日、5日に計4回開催・・・108社（164名）参加

■ 4月から6月までのインバランス精算

7月1日の第7回電力基本政策小委員会にて4月から6月までのインバランス精算の精算プロセスが資源エネルギー庁から示された。4月分、5月分については予定通り精算処理が行われ、現在は6月分のインバランス実績の送付及び訂正申請等を各事業者にて実施中である。

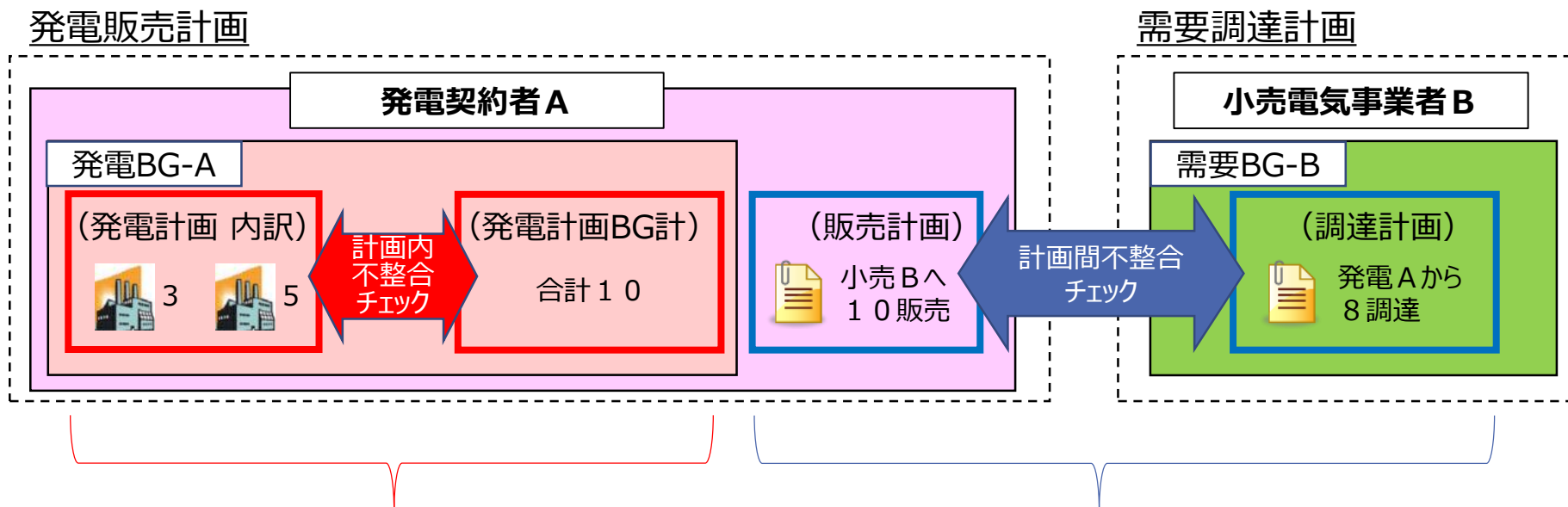
■ 広域機関システム等の第三者評価

将来の開発に向けた再発防止及びシステムの信頼性担保を目的として、第三者評価を行う予定。

運開時期	機能	概要
4月1日	(1)ファイル形式・必須項目チェック	BP標準規格に定めたファイル形式、データ形式であるかのチェック 必須項目の入力があるかのチェック
	(2)提出可能期間外チェック	各種計画の提出期間のチェック
	(3)マスターとの不整合	取引先コード、系統コード等のマスターデータとのチェック※1
8月1日	(4)計画内整合性チェック※2	自計画内での計画値の齟齬のチェック ＜例＞ 発電計画BG計≠ΣBG内の発電計画
	(5)計画間整合性チェック※2	他の計画との取引におけるコードの誤りや計画値の齟齬 (発電販売⇔需要調達、発電販売／需要調達⇔連系線利用計画、スポット約定値) ＜例＞ 販売計画≠調達計画
今後の予定 時期調整中	(5)計画間整合性チェック (変更分)	当日変更時の他の計画との計画値等のチェック (発電販売⇔需要調達のみ)

※1 発電販売計画のマスターチェックは4/6から開始、需要調達計画内の連系線利用計画マスターチェックは8/1から開始

※2 翌日計画策定時に限る。(変更時は非対応)



①計画内不整合

コードの誤り、
自計画内での計画値の齟齬など
提出可能期間外の提出

【今回のケース】

ΣBG内の発電計画内訳 (3+5)
≠発電計画BG計 (10)

②計画間不整合

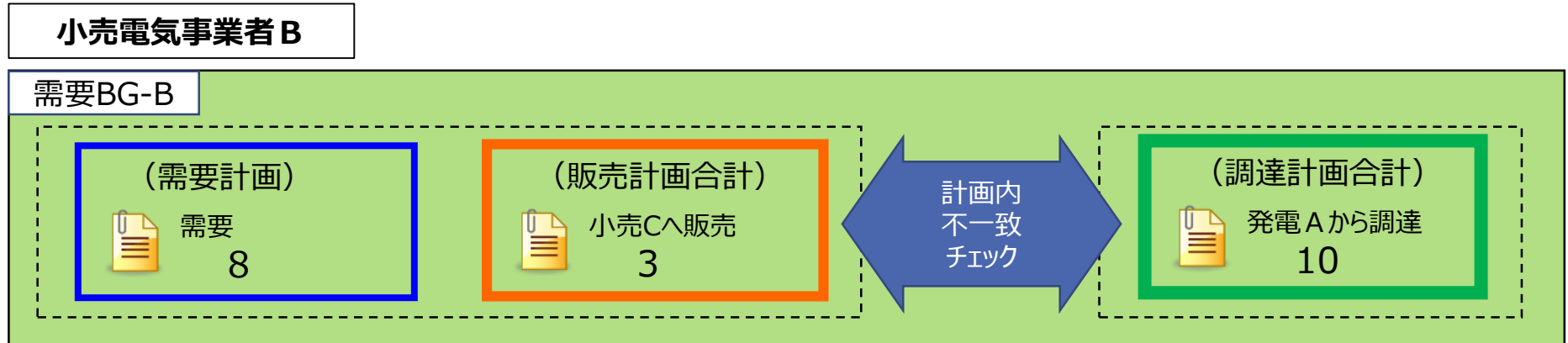
他の計画との取引における
コードの誤りや計画値の齟齬など

【今回のケース】

販売計画 (10) ≠ 調達計画 (8)

**※計画内整合性チェックを実施後、
正常と判断されたものが計画間整合性チェックに進む**

例) 需要調達計画の場合



③計画内不一致

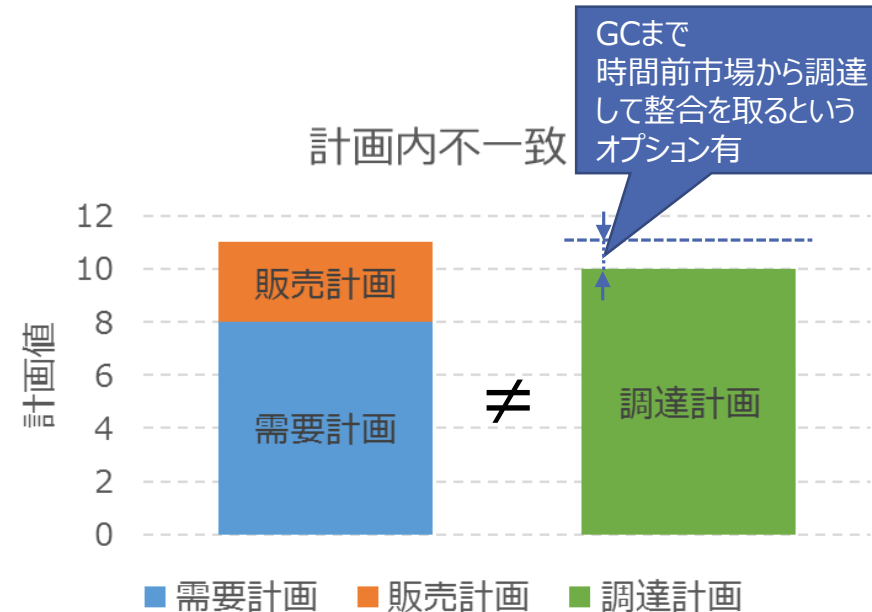
需要計画と販売計画の合計が調達計画と一致しない、
または発電計画と調達計画の合計が販売計画と一致しない状態

- ・需要計画 + 販売計画 $\neq$ 調達計画
- ・発電計画 + 調達計画 $\neq$ 販売計画

【今回のケース】

BG需要計画 (8) + 販売計画合計 (3) $\neq$ 調達計画合計 (10)

※発電販売計画も同様



- 適切な計画を提出していただくためのシステム外での取組の実施状況は以下のとおり

取組事項	概要	実施時期
週次整合性チェック	システム外で事後に最終計画を用いて不整合チェックを行い、不整合となる計画を提出している事業者へメール、電話による注意喚起の実施（計画内不整合、計画間不整合のチェック）	4月～6月（週次で実施）
日次整合性チェック	同上（計画内不一致、計画間不整合のチェック）	7月1日～現在（毎日）
計画記載方法の講習会	適切に計画を作成・提出していただくための講習会及び個別説明会の実施	5月16日～5月20日（計11回） [第一部] 講習会 ※129社（204名）参加 [第二部] 個別説明会 ※111社（184名）参加
整合性チェック機能に関する講習会	システムによる整合性チェック機能に関する講習会の実施	8月3日、5日（計4回） ※108社（164名）参加

(参考) 至近の計画エラー発生事業者数の推移 (7/1~8/31)

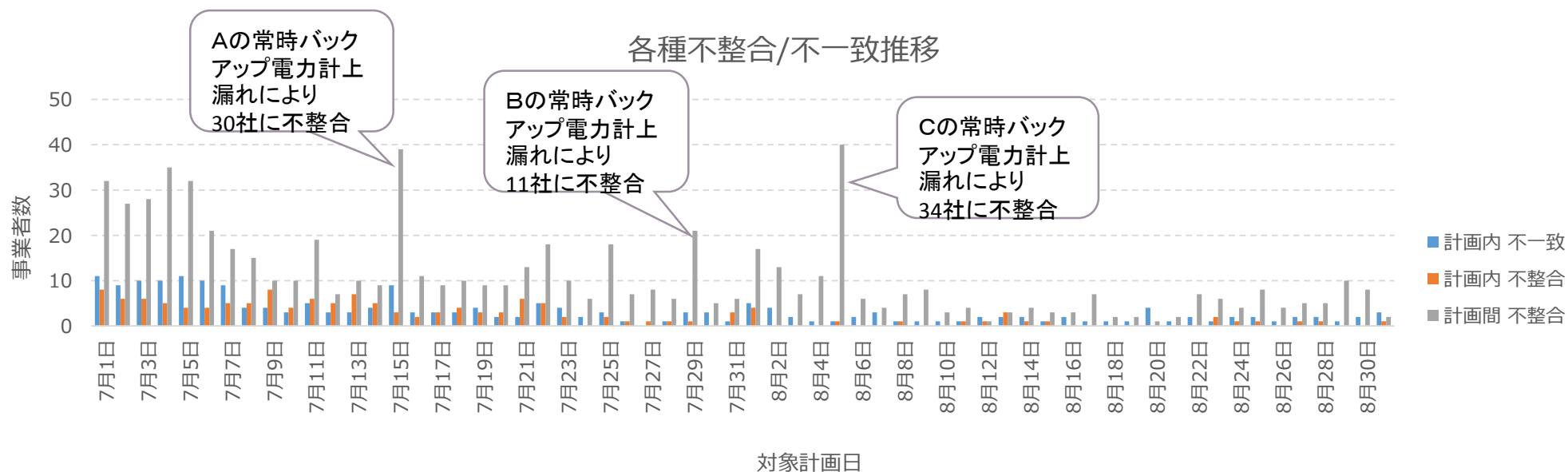
6

	集計	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12	7/13	7/14	7/15
計画内	不一致 (事業者数)	11	9	10	10	11	10	9	4	4	3	5	3	3	4	9
	不整合 (事業者数)	8	6	6	5	4	4	5	5	8	4	6	5	7	5	3
計画間	不整合 (事業者数)	32	27	28	35	32	21	17	15	10	10	19	7	10	9	39

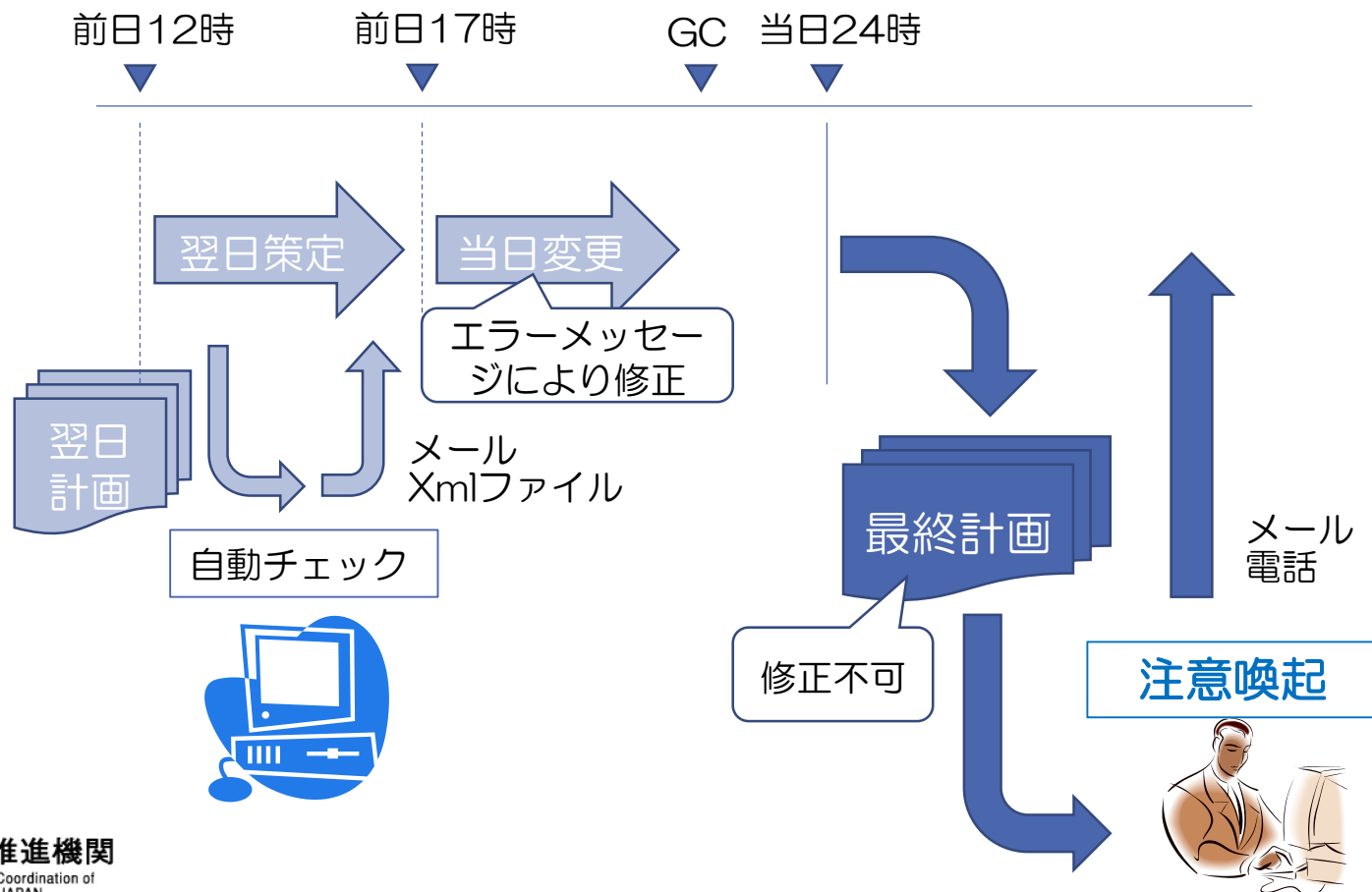
	集計	7/16	7/17	7/18	7/19	7/20	7/21	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	7/31
計画内	不一致 (事業者数)	3	3	3	4	2	2	5	4	2	3	1	0	1	3	3	1
	不整合 (事業者数)	2	3	4	3	3	6	5	2	0	2	1	1	1	1	0	3
計画間	不整合 (事業者数)	11	9	10	9	9	13	18	10	6	18	7	8	6	21	5	6

	集計	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15
計画内	不一致 (事業者数)	5	4	2	1	1	2	3	1	1	1	1	2	2	2	1
	不整合 (事業者数)	4	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	3	1	1
計画間	不整合 (事業者数)	17	13	7	11	40	6	4	7	8	3	4	1	3	4	3

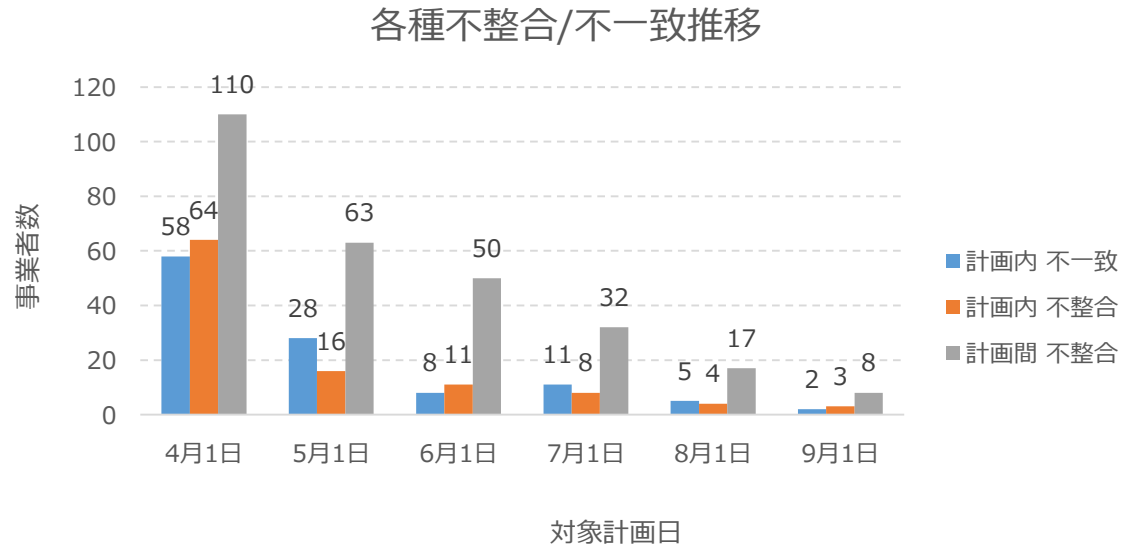
	集計	8/16	8/17	8/18	8/19	8/20	8/21	8/22	8/23	8/24	8/25	8/26	8/27	8/28	8/29	8/30	8/31
計画内	不一致 (事業者数)	2	1	1	1	4	1	2	1	2	2	1	2	2	1	2	3
	不整合 (事業者数)	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	1	1	0	0	1
計画間	不整合 (事業者数)	3	7	2	2	1	2	7	6	4	8	4	5	5	10	8	2



- ・自動チェック：翌日計画をシステムで自動チェックし、エラーメッセージ（メール、エラー箇所のXmlファイル）を発出し、GC前の修正を促す。
- ・注意喚起：当日終了後の最終計画を広域ツールを使って分析し、問い合わせ対応チームより、連日、メールで注意喚起するとともに、エラーの多い事業者には電話や面対で状況を確認。なお、実需給終了後のため修正は不可。



- 不整合／不一致を生じる計画を提出する事業者数の推移を以下に示す。



◆用語定義

【計画内不一致】 発電計画と調達計画の合計が販売計画と一致しない、又は
需要計画と販売計画の合計が調達計画と一致しない状態

- ・発電計画 + 調達計画 ≠ 販売計画
- ・需要計画 + 販売計画 ≠ 調達計画

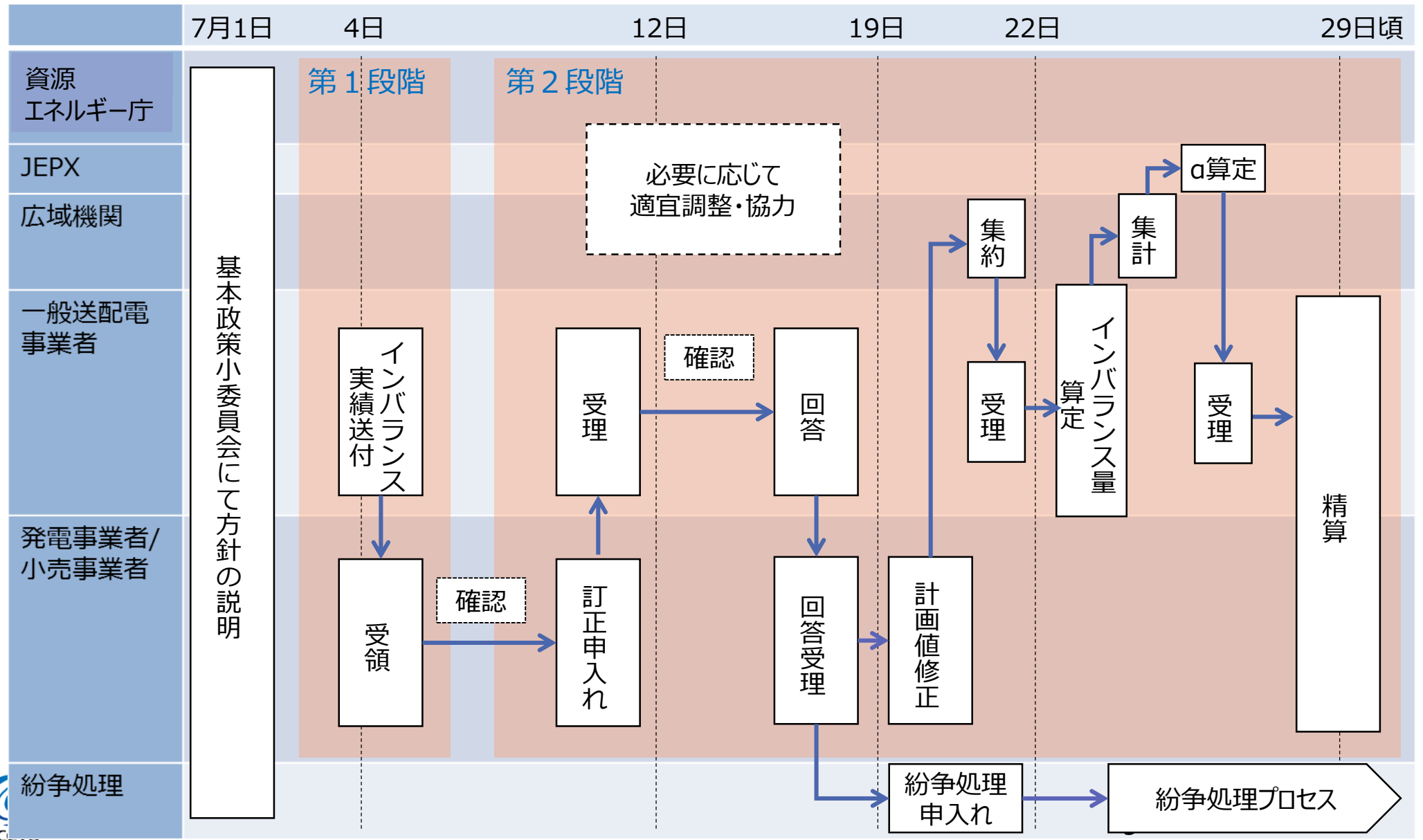
【計画内不整合】 同一計画内の数値の不整合

- ・調達計画合計 ≠ Σ 調達計画
- ・発電計画BG計 ≠ Σ BG内の発電計画 など

【計画間不整合】 関連する計画間での計画値の不整合

- ・需要調達計画内の調達計画と、発電販売計画内の販売計画の不整合 など

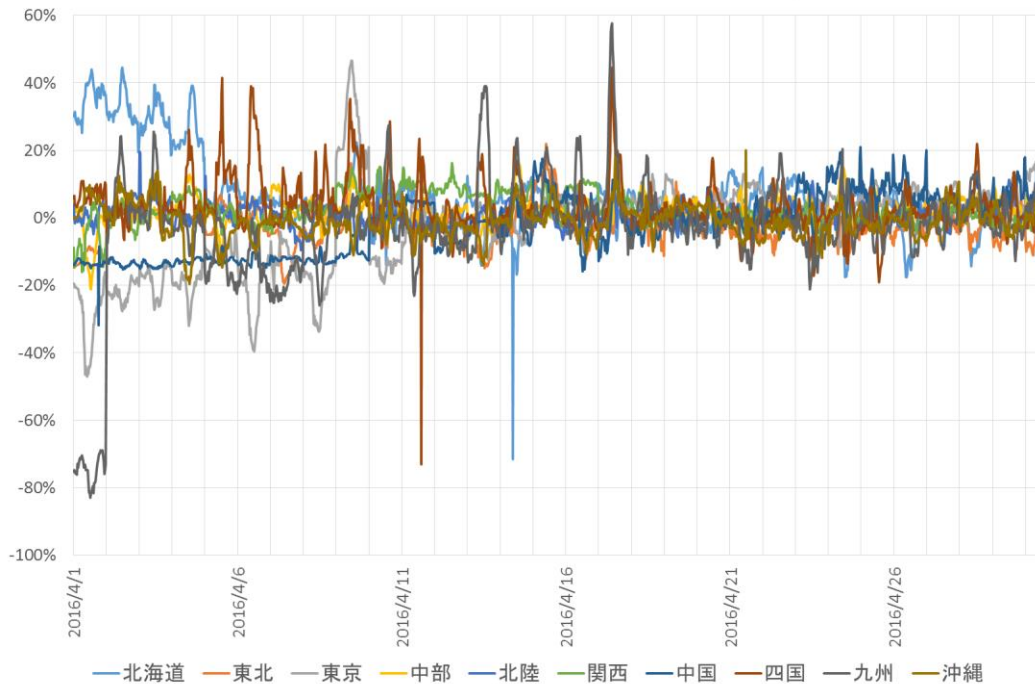
- 4月以降これまで、電話・メール等による注意喚起、講習会の実施（5月16日～20日、8月3日・5日）、広域機関システムによる自動チェック機能の運開（8月1日）等、様々な取組を実施してきた。
- とりわけ、7月1日からは、連日、発電販売計画・需要調達計画の全計画のチェックと不整合を起こした事業者への注意喚起を行い、比較的多くの不整合を生じさせている事業者に対し、その原因と対策についてヒアリングを行うとともに、具体的なアドバイスを実施した。
- この結果、偶発的に発生するものであっても、需給バランスに大きな影響を与えないレベルまで不適切な計画はなくなったところ。
- 以上を踏まえれば、制度開始当初に見られた不適切な計画提出を巡る一連の諸問題は解消されたと評価でき、現時点、当機関による報告徴収及び指導・勧告の対象となるものはないと考えられる。



■ エリアインバランス推移グラフ (4月速報値)

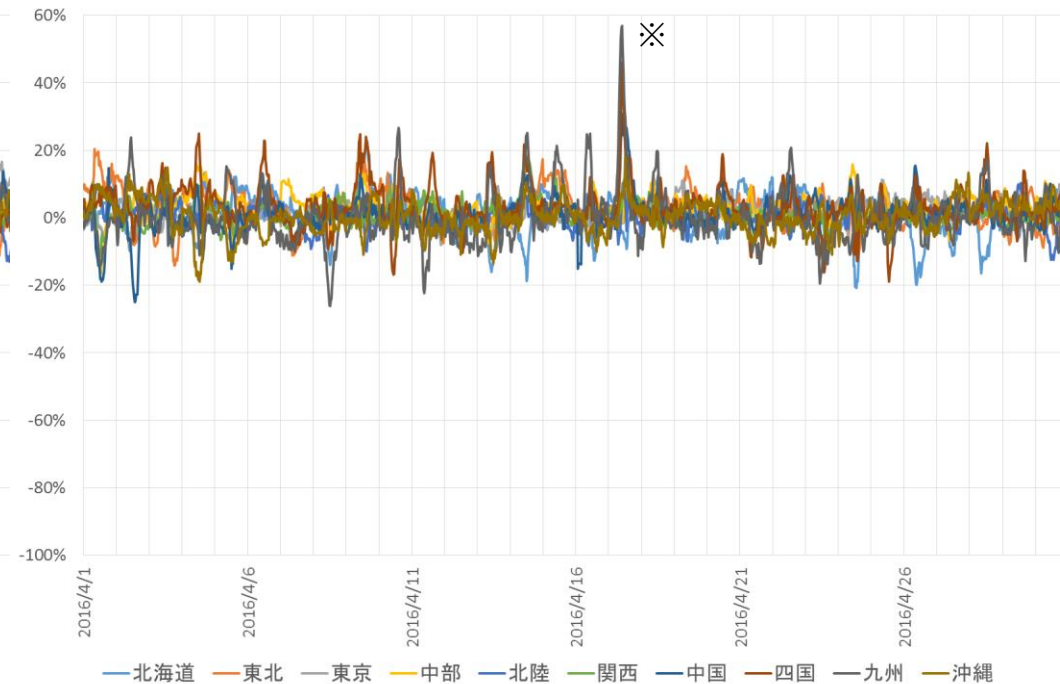
各コマ (30分単位) のインバランス実績／当該コマのエリア需要

各エリア需要とインバランス実績 比率 4月(速報値)



■ エリアインバランス推移グラフ (4月確報値)

各エリア需要とインバランス実績 比率 4月(確報値)



※四国エリアにおいて、FIT特例①の太陽光発電誤差及び需要想定誤差による



計画値修正後